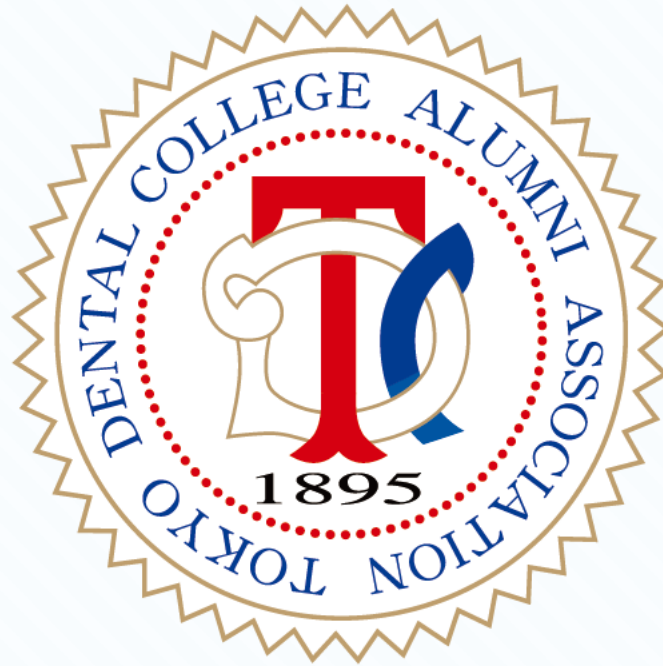




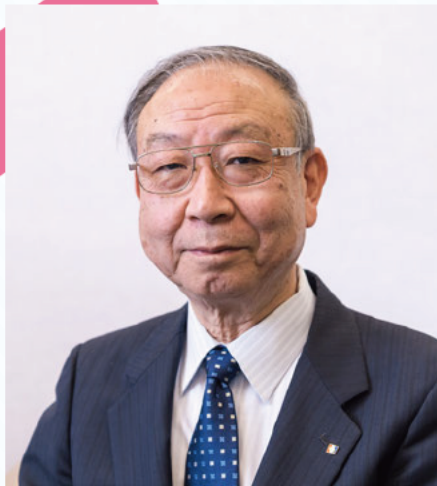
Tokyo Dental College
Alumni Association
2022

同窓会 案内

東京歯科大学同窓会



同窓会は新進会員の皆様を心から支援してゆきます。



東京歯科大学同窓会
会長 澁谷 國男

長年にわたる学習や研修の成果が実り、いよいよ希望に満ちた歯科医師としての生活が始まります。明治28年に本学の建学者である血脇守之助先生が、歯科医師は、生涯を通じて歯科医学と医療技術の研鑽を行い、共に学んだ同窓が助け合い、さらに豊かな人間性を育むことを目的として同窓会を創設されました。現在まで、120年を越える同窓会の活動により、すべての都道府県におられる、同窓が助けあい、連携して、各地域の方々の健康の担い手として、社会に多大な貢献をされています。

皆様は卒業と同時に全員の方が同窓会の会員となります。さらに、卒業後、5年目までは同窓会の新進会員となります。同窓会は新進会員の皆様が、素晴らしい歯科医師人生を歩むために、全面的な支援をしています。

新進会員が誰でも参加できる、若手支援のための症例検討会などを、同窓会において毎週のように開催しています。また、若手の会員のための卒後研修セミナーや、さらに高度な臨床セミナーも開催しています。さらに同窓会のホームページなどを通じて、新進会員の方の各種相談などにも対応しています。

皆様にはご自分自身で同窓会や歯科医師会などに積極的に参加され、ご自分の力で日本の歯科医療を、さらに発展、充実されることを大いに期待しています。

ようこそ同窓会へ♡



東京歯科大学ご卒業、おめでとうございます。

すべての卒業生は、新たに全員東京歯科大学同窓会員となりました。

これまで、歯科医師になるため、国家試験合格を目標としてきた君たちですが
これからは、良い歯科医師そして良き社会人になることを目的にしなければなりません。

良い歯科医師は、なんとなく想像がつくかもしれませんが、
「良き社会人」のイメージは持っていますか？

私たちも同じ気持ちで卒業しました。

そして、そこから一歩ずつ歩んできました。

社会人として

恋愛、結婚、家づくり、出産、子育て、趣味、生きがい、介護、近親者の死、
子孫の繁栄そして老い

歯科医師としても

研修医、研究、教育、学位取得、就職、開業、卒後研修、そして社会貢献
良いことばかりではなく、常に悩みは尽きません。

収入、資金繰り、技術、患者さんやスタッフとのコミュニケーション、健康保険、自費診療、診療トラブル、
医療訴訟、税金、労務関係 etc.

それらを、1つずつ解決しながらも改めて「東京歯科大学卒業生」で良かったと感じる日が必ずやってきます。

それは、真摯に誠実に社会に向かってきた多くの先輩方が築き上げてきた信用

そして、血闘先生が標榜した「家族主義」に基づくものなのです。

想像の中の10年後、20年後。

必ず先輩方の経験が様々な形であなた方へ伝承されていきます。

さて、歯科大学の同窓会って何でしょうか。

これまでの学校同窓会とは大きく役割が違います。

仲間との絆を絶やさない目的ではありません。

「歯科」という分野において歯科医師として業界を支えあう同志という位置づけ。

そして、国民に最適で良質な歯科医療を提供するための社会的組織でもあるのです。

古くは歯科医師国家資格の制定から、近年では東日本大震災やこのコロナ禍においても、しっかりと日本の
歯科社会を支えてきたのは、個人ではありません。目的を持った団体なのです。現代日本社会は責任の所
在を明らかにするため必ず裏付けを求めます。何の表札や看板もない個人では地域医療や社会への貢献は
とても難しいのです。

そしてその歯科社会を過去もそして現在も牽引リードしているのは紛れもなく東京歯科大学同窓なのです。

遠くにあると思えた歯科界そして歯科行政も、実は東京歯科大学同窓であれば身近な存在になります。

私たちは君たちへの最初のメッセージとして、共に130年余りの歴史と伝統を育み、母校後輩たちにしっ
かりと継承していくことを強くお願いしたいと思っています。

新たなるご入会、心から歓迎いたします。

東京歯科大学同窓会 専務理事 小枝義典 (S59 卒)



新進会員って？

Q. 同窓会って何をしているの？

私たちの同窓会は、1895年(明治28年)6月「高山歯科医学院院友会」という名称で設立しました。単に同窓生が集まり親睦を深めるだけでなく、研究機関としての役割を期待し発行された機関誌は、現在の「歯科学報」に継承されています。



初代会頭 高山紀齋先生 第2代会頭 血脇守之助先生



機関誌と歯科学報

専門学校時代経て、戦争を乗り越え1946年(昭和21年)11月現在の東京歯科大学同窓会になりました。

同窓会の事務局は水道橋校舎南棟にあり、会員の先生方や支部の現情報の整理、各種会議の準備など様々な事務処理を行っています。

近年の大きな災害に対して、被災地へ支援金をお送りしたり、昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策の情報提供や「特別支部助成金」という形で各支部へ納入会費の15%を支給、準会員へも同様に助成(200万円)をおこないました。

また、同窓会には7つの委員会があり、担当役員と委員が事業を行っています。(同窓会報の作製、学術セミナー、多方面で活躍する人材育成、ゴルフ大会等々)

Q. 同窓会ってどうやって入る？

本学を卒業すると自動的に同窓会に入会します。入会手続き不要。退会規定はありませんから、生涯同窓会会員です。

Q. 同窓会の会費は？

年会費

・準会員	本学在学中	会費なし
・正会員	卒後5年目までの新進会員	10,000円
	卒後6年目～10年目の若手の会員	10,000円
	卒後11年目～50年目の会員	20,000円
	卒後51年目以降は会費免除	

会費は各種事業を行うための事業費、同窓会会員への支援、大学への支援、事務局の維持費などに使われています。

Q. どんな支援？新進会員であるメリットは？

A. 世代・地域を超えた同窓の交流など以下のような多くの支援を行っております。



東京歯科大学同窓会主催の
各種セミナー、講演会等は、
無料もしくは割引料金で
受講できます。

新進会員のつどいは
無料で参加できます。

他大学同窓会主催の
セミナー等にも無料で
受講できるものがあり
ます。

支部、地域支部で開催される学術講演会、保険講習会に参加できます。

皆さんの生の声を支部長を通して本部に伝えることができます。

80歳、100歳を迎えられるとお祝い金が贈呈されます。

また、死亡時には弔慰金が支払われます。(会費未納者には支払われません)

年4回発行の会報で、同窓会、クラス会、大学の情報がわかります。

同窓会ホームページのメールBOXから質問、相談ができます。



先輩から卒業生の 皆さんへ・・・

松浦 葵



125期生・令和2年卒
東京歯科大学卒業後、東京慈恵医科大学
付属病院にて研修中。

Q：今の職場を選んだ理由は？

私は東京慈恵会医科大学附属病院の歯科で研修医2年目として働いています。歯科では、埋伏智歯抜歯、骨折を含む外傷、顎関節症などの口腔外科疾患から周術期口腔機能管理、有病者歯科医療治療まで広範囲にわたる診療に従事しています。

学生時代から口腔外科に興味があり、口腔外科に進まれた先輩に色々話を伺いました。重ねて4年生の口腔外科の特別講義が印象強く、口腔外科をもつ東京慈恵会医科大学附属病院を見学させていただきました。実際、研修施設を見学させていただき、当時の研修医の先生や指導医の先生方の診療を拝見して、私もここで働きたいと強く思いました。自分自身がどの分野に進みたいか、自分の学びたい症例が多いかなどを踏まえ現在の職場を希望しました。

Q：歯科医となった生活はどのようなですか？

研修医1年目の最初の頃は、新型コロナウイルスの影響で一般外来、手術もストップしていましたが、現在は通常通り再開されています。新型コロナウイルスの影響で1年目は例年通りとはいきませんでした。中旬から初診を担当したり、オペに入ったりと充実した研修をさせて頂きました。1年目は本院勤務ですが、2年目は4ヶ月ごとに本院、麻酔科、慈恵会医科大学第三病院で研修します。私は今麻酔科で研修させて頂いており、歯科だけではなく医科の手術の麻酔管理も勉強させて頂いています。

Q：歯科医師となって楽しさや困難は？

実際、研修医の生活に慣れるまでは大変でしたが、学生時代の勉強だけではわからないことが臨床現場では、たくさんあり日々勉強になっています。学生時代とは違い、与えられて学ぶのではなく、いかに自分が吸収して学ぶのが大切なのだと実感しています。



学生時代は定期試験や総合試験などにおわれゆっくり将来について考えたことはなかったように感じます。しかし卒後の研修先は国家試験前に決定するのですが、その時までには将来の進路が明確でない場合でも、いろいろな先輩の話を聞いて視野を広げることが大切だと思います。研修施設の選択は、今後のターニングポイントの一つだと私は思います。

研修期間はずっと大変なことも多いですが、それが自分を大きく成長させてくれると思います。この企画により少しでも卒業する後輩の皆さんの選択の幅が広がれば幸いです。今後一緒に働ける事を楽しみにしています。

Yell
Congratulation on your graduation

先輩から卒業生の 皆さんへ・・・

藤田理志



122期生・平成29年卒
東京歯科大学卒業後、東京歯科大学水道橋病院にて研修修了。
現在、水野デンタルクリニック勤務。

Q: 歯科医師となった生活はどうか？

朝目覚めるとロフトから降り、まず水を200mlほど飲む。シャワーを浴びた後、20分ほどの軽いストレッチをし、30分ほど本を読む。その後、朝ごはんを食べたら歩いて出勤する。これは、前の日に飲んだくれていなければやろうと考えている事である。いわゆる朝のルーティーンと言うやつだ。朝は集中力が最も高い。二日酔いでない限りはスッキリした頭で物事を考えられるうえ、計画を確認することでその日の流れが良くなる。私はまだこの生活を始めてからそれほど経っていないが、本を読むことで知識が増え、歩くときに前日の振り返りやその日の目標を確認でき、ストレッチでお尻の可動域を広げる事ができた。やっていなかった頃と比べ格段に生活は充実し、自分との約束を守ることができたことで自己肯定感を以前より高める事ができた。こんなルーティーンを作るきっかけとなる出来事があった。

研修医を修了し今の職場に就職したばかりの頃、夜な夜な歯科用マイクロスコープを覗き込み感染根管処置の練習をしていた。「あとは根管充填をするだけ」そう思って院長先生に確認してもらおうと「藤田くん、髄角が残っているよ」と言われた。カールツァイス製のマイクロで照明と拡大を駆使して練習をしていたのにも関わらず、目の前の髄角を見つけれなかった。いや、見えているのに見えていなかったのだ。見えていても見ようとしなければ見つからない。このことに気づけたことはとても大きな出来事だった。

見つからないものは、髄角だけではない。自分が今やらなければならない事、将来のために何を学ぶのか、どんな人間になりたいのか、患者は何を望んでいるのか、どうやったらテニス、スキーは上手くなるのか、.. しっかりと考えないと見つからない事はたくさんある。しかし、大切だとわかっている、なんとなく過ごしたり、飲みにいったり、遊んでしまったり、やりたいこともたくさんあるため、本当は今のうちからやっておいた方がいいことがいい加減になってしまう。だから私は、大切なことを見落とさないようにするにはどうしたらいいのか考えた。

その中でまず、長期、中期、短期の目標を明確に具体的に肯定的に決めた。なりたい自分、やりたい事をはっきりとさせ、将来から逆算して優先順位を決める。その目標は、自分に正直か、程よい負荷がかかっているか、周りの人のためになっているか、こまかく確認した。次に、その目標に向かっての1日の目標を決め、それを達成するという約束を毎日自分とした。この約束の中で、朝のルーティーンができた。

朝が変われば1日が変わる。1日が変われば1年も変わる。朝の集中力を高め、1日を目的意識も持たず怠惰に過ごすのではなく、一瞬一瞬を真摯に過ごす。こうしながら日常に在る「自分を成長させてくれるきっかけ・チャンス」を見落とさないように常に見ようとする状態にいることを心掛けた。さらに、日常の中に隠されたチャンスやきっかけに気づけるか、そこに目を向けられるかは、

常に自分が「こうなったらいいな」と思う事を意識し、そこに近づくために自らの心と精神を高めることが大切だと考えた。

私は、この心と精神を高めるということが東京歯科大学建学の精神である「歯科医師たる前に人間たれ」の言葉と通ずるものがあるように感じた。学生時代耳に胼胝ができるほど聞いたこの言葉が、本当に大切なことなのだと改めて実感することができた。

学生や研修医のときは、何も意識せず、目の前の誘惑に負けたことにも気づかず、仕事が終わったらどこに飲みに行くか、ということしか考えていなかった。しかし今、歯科医師になり5年目がたとうとしている。運が良いことに、仲間、家族、職場にも恵まれ充実した生活を送っている。最初の頃こそ歯科臨床に明け暮れる毎日であったが、今では歯科だけでなく、他の分野の勉強もするようになった。また、スキーのバジテストを受け、ダイビングのライセンスを取得し、毎週ジムに通い、テニスのスクールにも通っている。こんなに充実した日々が過ごせているのは周りに恵まれたこともあるが、目標を決め、計画を立て、一日一日を大切に生きられたからだ実感している。

最後に、このような機会をくださったことにお礼を申し上げます。実際何を書いてもいいのかわかり、そのせいもあるのかお酒を飲み過ぎてしまったりもしたが、卒業してからの5年を振り返り、自分の中で大きく変わったことを書きました。

まだまだ安心できない日々が続きますが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお祈り申し上げますとともに、母校の発展と皆様のますますのご活躍をお祈りし筆をおかせていただきます。



卒業してからの5年で、その人の人生が決まるとよく聞くものだが、本当にその通りだと感じる。同じ5年を過ごしたとしても、何も意識しない5年と意識し続ける5年は全くの別物だ。卒業生は、これから様々な困難がたくさんあると思う。そんな時、「歯科医師たる前に人間たれ」の言葉を思い出し、より良い人間さらには歯科医師になれるよう、東京歯科大学の誇りを胸に過ごして欲しい。

新進会員のつどい



新進会員のつどいでは、年齢の近い先輩の講演会、懇親会を企画しています。講演や対話による気づきと助言から、この会が若手会員の明日への確実な一歩を踏み出す機会となるはずです。令和4年度も、新進会員の企画による会を開催予定です。



未来の歯科界を担う若手会員が、世代・地域を越えた同窓の交流を通じ、将来に向かって希望に満ちた道を進めるように、ニーズにあった支援を行っていきます。



2019年 新進会員のつどい



本委員会は平成 28 年に創設された「女性会員活動推進委員会」を引き継いで活動して参ります。若手の会員・女性会員がより同窓会活動に参加しやすくするために、現状を把握し、今後の方向性を検討していきます。各支部の先生方と連携して情報を交換し、全国の先生方にそれらの情報を提供したいと考えています。また、「会員活動推進委員会」としての企画を立案し、若手支援ネットワークと同様に、若手の会員が同窓会をより身近なものに感じられるようにしたいと考えております。



日本歯科医師会

これから歯科医師として活躍される皆さんへ、日本歯科医師会についてご案内します。



【日本歯科医師会とは】

日本歯科医師会は、本学のレジェンドである血脇守之助先生が1902年歯科医師の社会的な地位を確立するため全国の歯科医師に呼びかけ、1903年に大日本歯科医会として設立されました。



初代会長は本学創立者の高山紀齋先生で、歯科医師が一致団結したことで1906年歯科医師法が成立し、医師と同様に国家資格として業務分担がされ今日に至っています。

日本歯科医師会はこのような歴史的背景を基に、歯科医師の社会的な地位向上と国民歯科医療の充実、歯科公衆衛生の向上に寄与する活動を行ってきました。

特に、地域医療においては下記にあげるような活動を各地区の歯科医師会が担っていて、歯科医師会の会員でなければ、参画することは出来ません。歯科医師として資格を得た皆さんが、歯科医師会に入会せず地域の公衆衛生活動に従事することが出来ないといえれば、それは難関を突破し得た国家資格を十分に還元出来ないこととなります。

歯科医療だけでなく、公益的な事業に関わってこそ歯科医師の本分といえるのではないのでしょうか。

『地域公衆衛生活動』

- 母子保健関係：1.5歳児検診、3歳児検診、歯科衛生相談、保育園健診、保育園口腔衛生指導
- 成人歯科保健関係：歯周疾患検診、妊産婦歯科検診
- 障害者関係：障害者歯科治療 ●在宅寝たきり高齢者事業
- 地域歯科医療関係 ●休日急患歯科診療
- 医師会、薬剤師会と連携した事業活動 ●防災救護活動
- 学校歯科保健との連携：学校歯科医の推薦、学校健診における治療勧告、歯科保健講話、保健指導などへの対応

また、2年に1回実施される歯科診療報酬改定においては、唯一の職域代表として歯科医療の対価に関わる重要な交渉を行っています。この歯科診療報酬改定時には、日本歯科医学会から歯科の技術や材料に関する評価提案書を中医協に提出していますが、日本歯科医学会は日本歯科医師会の内部組織であり、日本歯科医師会全体でこれに対応しています。

さらに、日本歯科衛生士会や日本歯科技工士会等の歯科関係団体に加え、日本医師会、日本薬剤師会、日本看護協会等の医療関係団体とも緊密な連携をとり、わが国の歯科医療および社会福祉の発展向上に努めています。

【歯科医師の責務としての生涯研修】

皆さんはこれから国家試験に合格して歯科医師臨床研修を経て、歯科臨床現場で活躍されていくことでしょう。

歯科臨床に携わる上で、大切な事は継続した生涯研修を実践することです。日々の臨床現場での経験は、なにもにも代えられない貴重なものです。でもそれだけでは十分とは言えません、常に新しい歯科知識と技能の修得に努めなければ、国民に安心安全で質の高い歯科医療を提供することは出来ないでしょう。自信を持って、歯科臨床を実践するためにも継続的な研修は必要なことです。

日本歯科医師会では1964年から研修会を開催し会員への学術的な支援を行ってきました。現在の日本歯科医師会生涯研修セミナーの始まりは、各歯学部・歯科大学の協賛を得て「研修セミナー」という形でスタートし現在まで半世紀以上の実績があります。1973年からは国の委託事業として「歯学研修セミナー」と改められ、1979年から現在の日

本歯科医師会と都道府県歯科医師会共催という形式になり今日に至っています。

会員の研修意欲を評価するために、研修単位を登録する日本歯科医師会研修事業としては、1988年より本格的に稼働し30年以上経過しています。

このように、歯科医療需要の変化に応じた研修を通して、健康寿命延伸のために口腔保健・歯科医療を実践することが求められるからです。

昔では、多くの歯科関連の研修会が、対面の講演会やWEB配信の形で開催されています。この中で内容の質が担保されているのは、歯科医師会、日本歯科医学会所属学会、各歯科大学歯学部同窓会・校友会による卒業研修です。中でも日本歯科医師会、都道府県歯科医師会、郡市区歯科医師会の開催している研修会は、厚生省の認める施設基準に関わる研修会など充実したものになっています。

日本歯科医師会の研修配信システムのE-systemでは、下記のような多くのコンテンツを会員がいつでもどこでもみることが出来ます。

臨床研修医でも日本歯科医師会の第6種会員に入会登録すれば、2年間利用する事ができます。2年経過後も会員種別を変更して継続すればそのまま利用する事ができます。コンテンツは毎年追加され、さらなる充実が図られています。

『E-system 研修コンテンツ 配信状況』

閲覧可能な	総動画コンテンツ数：519本 総文献数：10844本
内訳	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日歯生涯研修ライブラリー動画 (単位登録の test あり)：188本 2) 日歯生涯研修セミナー動画 (単位登録の test あり)：241本 1)、2)のコンテンツで施設基準に関する研修動画：17本 3) 研修文献数 (単位登録の test あり)：965本 4) その他動画コンテンツ (単位登録の test 無し)：73本 5) 参考文献数 (単位登録の test 無し)：9,879本

【おわりに】

歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」です。美味しく食べる、そして楽しく会話する。すべての人が充実した人生をおくるためには歯と口の健康が必須です。私たち歯科医師は、国民の歯と口の健康を保持・増進し、ひいては全身の健康を支えるため、日々歯科診療に従事しています。

日本歯科医師会は「歯科医師である限り、生涯をかけて、共に学びあう組織」です。共に学びあい、歯科医療を通じて公益的な役割を果たしているのです。

この機会にぜひ日本歯科医師会に入会され、歯科医師会会員として活動し、歯科医師としての歩みが充実したものなることを期待します。

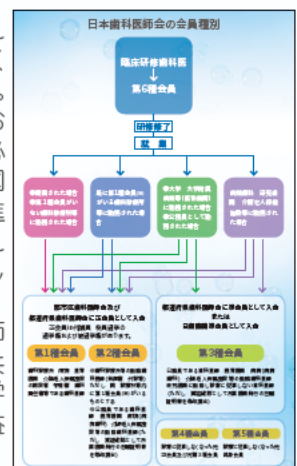
前日本歯科医師会常務理事(学術・国際渉外担当) 小林慶太 (S58年卒)

【問い合わせ先 TEL】

(公・社) 日本歯科医師会

会計・厚生会員課(厚生会員部門)

TEL:03-3262-9323



日本歯科医師会 入会のご案内

～歯科医師として歩みを充実させるために～より詳しく

ご存知ですか？「学校歯科医」



歯科医師は、歯学に基づいて傷病の予防、診断および治療、
そして公衆衛生の普及を責務とする医療従事者です。

学校歯科医とは、学校保健安全法に定められている「大学以外の学校で、歯科健康診断や歯科保健指導、歯科保健教育などの職務を非常勤で行う歯科医師」のことで、学校保健安全法に定められた「学校歯科医の職務の準則」に従い、歯科医師であるとともに教育者として学校のなかで、児童生徒の健康と安全を守るために、学校関係者・学校医・学校薬剤師・地域の方々と専門を超えた連携を取りながら活動をしています。

昭和7年学校歯科医会が設立されました。現在は公益社団法人日本学校歯科医会として、文部科学省を監督官庁として、学校歯科保健活動を実施しており、その活動が、DMFTの減少など日本の予防医学に関与してきたことは大きく評価されています。卒後の皆様の歯科医師としてのライフコースに学校歯科保健が何らかの形で組み込まれていくことで、次世代医療を考えるうえでの一助となることを期待いたします。

さて、歯科医師のライフコースの中で、学校歯科医はどのように委嘱され、どのように活動することができるのかについて考えてみたいと思います。

学校歯科医歴35年以上になる私の例ですが、開業後、すぐに地元歯科医師会・県歯科医師会・日本歯科医師会に入会し、その後小学校の学校歯科医に委嘱されました。私は小学校11年・中学校15年(5校ほど担当)・現在は県立高校と私立の保育園を担当しています。公立学校の場合、その委嘱は市町村の教育委員会に、県立の学校においては県の教育委員会がその委嘱を担います。私立学校の場合は、個別の対応となります。私の地元の歯科医師会では、市の歯科医師会が地元の学校(保育園・幼稚園・小、中、高等学校)を把握し会員の皆様にご担当頂いています。歯科医師会未入会の先生方は、学校歯科医としては任命されていません。このように学校歯科医と歯科医師会は大きな連携があることがわかります。

口腔疾患と全身の疾患の関与が明らかとなってきた今、8020健康長寿社会を実現するためには、歯科口腔保健が大変重要となってきました。小児期に身につけた正しい生活習慣が成人期、高齢期の健康につながり、口腔の健康のみならず、心と身体の健康を担ってくれるようライフコースアプローチという概念から学校歯科保健に取り組んでいきましょう。

卒後の皆様の歯科医師としてのライフコースに学校歯科保健が組み込まれていくことで「人間の生涯の大切な時期に直接関われる学校歯科医」として活躍されることを願っております。

日本学校歯科医会副会長 齋藤秀子(S48卒)

学校歯科医のフィールドは広がっています。

- *学校健康診断及び事後措置
- *健康相談
- *保健教育
- *学校保健委員会・地域学校保健委員会での指導助言
- *養護教諭や学級担任による個別指導や健康相談への指導助言
- *「食」教育の支援
- *スポーツ歯科医学を通じた学校安全への参画

マウスガード作成事業は、
花巻東・浦和学院・大阪桐蔭・新田の4校がモデル校です



歯と口に関する
図画ポスターコンクール



日本学校歯科医会
発行の情報発信



<https://www.nichigakushi.or.jp>

研修会に 参加して

松浦信孝



123期生・平成30年卒
歯科麻酔学講座大学院生として
日々研鑽を積んでいます

VOICE
参加者からの声

ベーシックセミナーを受講して

周りが大学病院の研修や、大手開業医での研修を選択する中、母校の市川総合病院で口腔外科研修プログラムを選択した自分には不安もあった。GPとしてのレールを外れるような気がして、果たして戻ってこられるのか、今一番自分がやりたいと思っている一般歯科診療を後回しにして、自分は将来ちゃんと開業医になれるのか、最終的に歯科治療が自分にも出来るようになるのか。地に足が付かないような気持ちのまま研修を受けている中で出会ったのが、本セミナーだった。項目は抜歯、MTM、TEK作成、局部床義歯設計。一回の体験でその技術を習得し尽くしたとは言えないけれど、学生時代に判子のために意味も分からず手を動かしていたときは違った手応えがあった。自分が、自分の仕事のために勉強するのだという、学生マインドから歯科医師マインドへの切り替えのきっかけであり、テスト勉強から現場の勉強へと接続するようなセミナーだと感じた。講師達は自分の診療の傍ら、研鑽を積

む同窓会の先生達というのも新鮮だった。学生時代に会う、親以外の歯科医師といえば、大学の先生か、実習で来る非常勤の先生達のような、大学に今でも関わっている先生だったからだ。日々自分のクリニックの臨床をこなしながら、自身も勉強し、土日返上で後進教育に携わる姿に、尊敬と憧れを感じた。それはそのまま、将来自分が地方に帰った後に、そうになりたい歯科医師像だったからだ。自分にとってベーシックセミナーとは、歯科的な基礎技術を学ぶ場であると同時に、自分の将来の歯科医師像を考える良ききっかけとなった。

ご卒業おめでとうございます。

これからの歯科医師人生では、それぞれの分野で研鑽の日々が続いていきます。

これまでの国家試験勉強と格段に違う点は、今後皆さんが身につけた知識や技術の一つ一つが、患者さんの喜びに直結するということです。

東京歯科大学同窓会のセミナーは、そうしたみなさんの歯科医師人生の門出にふさわしく、基礎的な知識から、熱い臨床家の心意気までも学べる勉強会です。

ぜひ、参加してみてください。

研修会に 参加して

竹田岳史



107期生・平成14年卒
カワセビル歯科医院
一ツ橋歯科クリニックで研鑽を積み
2007年 生まれ育った島根県浜田にて竹田歯科医院移転開業
沢山の人から信頼され愛される歯科医師として従事しています。

参加者からの声

TDC アカデミア卒業研修会 Web 勉強会に参加して

昨今のコロナウイルスによって世界は様変わりして我々歯科臨床にも多大な影響が及んでおります。加えて、我々に必要な研鑽にも強く不自由な影響を及ぼしています。日常の臨床のため日々の研鑽は必要かつ必須のことですが、学会も、有料研修会も軒並み中止や延期さらには不要不急の県外への移動制限などあらゆる制約が課せられています。それに対応すべく多くの研修会はリモートへと移行していきました。しかしながらインターネット、パソコンに馴染みのない方には自分も含めなかなか高い壁と感じられると思います。自身は島根県の片田舎で、東京までは大変距離がありますし、コロナ禍でなかなか移動も考えにくくその為情報が遅れていく不安を感じていました。

その様な中、東京歯科大学同窓会卒業研修会をコロナで集まれないためWeb (Zoom) にて開催していると伺いました。丁寧なサポートをいただき無事に東京で行われている感覚の勉強会に初めて画面上で参加させていただきました。当初は画面上の違和感や音声の聴きにくさなど多少ありましたが回を重ねるにつれて改善され、こちらもイヤホンの使用などで環境を整え、慣れますとリアルな勉強会と変わりません。驚きでした。中には電車の中から、車の中から参加される先生。また、地方から私島根以外に、他には愛媛、さらにはアメリカボストンから朝出勤前に参加されておられました。幾度か参加を重ね、最も素晴らしい点は自宅から水道橋まで片道約

900kmですが、この距離をたった1秒で参加できる事です! 感染のリスクは0です。全国の先生方には大変利便性の高い水道橋の勉強会に診療後に参加できます。

ネット環境があればいつでも好きな場所で手軽に参加ができます。年齢も卒業間近から先輩まで多様な年代の先生が参加されておられますし、中には普段お話しできないような書籍の著名な先生まで参加しておられ、大変貴重な会と感じました。しかも無料です。メールアドレスの登録のみです。加えて会の方針としても同窓に限らないので他大学出身の先生方もおられますので、非常に意見の幅も広く勉強になりました。明日からの臨床のヒントを多く得られます。本来は勉強会の後の懇親会で更に実際に即したもっと詳しい内容が最も勉強になるのですが、後会がない分本来の時間の中で深くお話しただけです。普段は少ない質疑応答も、時間の限られたWebではかなり具体的に多くの質問が出ます。これが1番の勉強になります。自分では思いつかなかった他の先生方からの質問です。Webの勉強会はむしろリアルよりも濃厚で有意義な時間でした。

まとめますと、地方から日常診療後に1秒で参加でき、リアルよりも濃厚な中身の勉強会に簡単に参加でき、明日からの臨床のヒントが得られる大変貴重な勉強会であることを報告いたします。

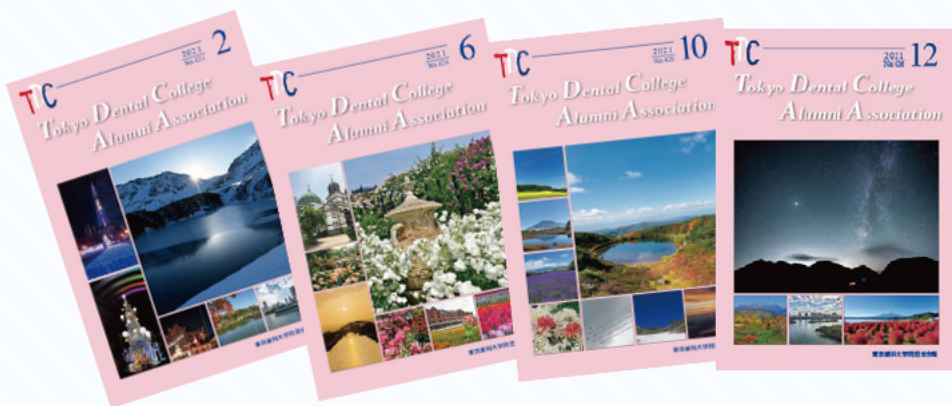


開催予定: 令和4年9月15日(木) (よみうりゴルフ倶楽部(東京都))

「参加申し込み詳細は、同窓会報6月号に掲載されます」



◎同窓会会報を年 4 回発行します



◎同窓会 HP・Facebook にて各種情報を共有しています。

同窓会
ホームページ



<http://www.tdc-alumni.jp>



Facebook



<https://www.facebook.com/TDCalumni>



同窓会 Web ページのトップ画面



同窓会員からの
写真投稿ギャラリー
写真募集



今まで発行された同窓会会報

同窓会ホームページでは、同窓会の活動内容や大学の最新情報も掲載しています。

また、会員ページもあり同窓会員向けの情報が満載です。ぜひアクセスしてみてください。ログインするためには、ID とパスワードが必要です。

(9ページ、随時更新・会報に掲載)

先輩から卒業生の 皆さんへ・・・

田中(大西)眞実



125期生・令和2年卒
東京歯科大学卒業後、亀田総合病院にて研修修了。
現在、東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学・障害者歯科学分野在籍。

Q：歯科医となった生活はどのようなですか？

日々奮闘しています。歯科医となって2年目の今、まだまだわからないこと知らないことばかりで、学生時代よりも必死に教科書を読んでいます。学生時代との違いは、自分の好きな分野をとことん勉強でき、そして勉強したことが臨床・研究に反映されることです。とても楽しいです。

Q：学生時代にやっておけばよかったことは？

学生時代は勉強・部活・バイト・課外活動、気になったものは大体やったので、これといって悔やんでいるものは特にありません。強いて言うならば実習器材（顎模型やプライヤー類）をもっと大切に扱えばよかったという後悔を最近しました。

Q：学生時代にやっておいてよかったことは？

・行動したこと

課外活動や歯科学分野関係なく、学外のセミナー等、興味が湧いたものは参加していました。まるで無関係と思っていた行事で出会った人と、偶然共通の知り合いがいたり、その後何かのご縁で再会をして仲良くなることもあり、世間の狭さに驚いた記憶があります。当時の思い切った行動が意外にも今の自分の環境の軸ともなっているので、時には思い切りが必要だということを学びました。

・将来について真剣に考えたこと

学生時代、将来についてとても考えました。やりたいことは何か、自身が描くライフプランとのバランス、当時の自分を取り巻く環境を含めてどの進路がいいか考えました。答えを出すために、沢山の尊敬する先生方からお話を聞いていたかと思います。結果、真剣に考えて選んだ研修先は本当に充実していました

し、今の選択にも後悔はありません。

Q：研修時代のできごとは？

研修先の亀田総合病院は、救急医療から急性期医療、一般外来、在宅診療まで、あらゆるニーズに医療を提供する千葉県南部の基幹病院です。研修は「視野を広げる」ことを目的としていた私にとって最高の学び場だったと思います。歯科においては、各方面の先生方がいらっしゃり、先生方から知識や技術はもちろん、歯科医療との向き合い方や価値観を教えてくださいました。また、各大学から集まった同期に恵まれ、とても充実した1年を過ごすことができました。



ご卒業おめでとうございます！

学生時代に一生懸命書いたノートや実習器材、教科書は宝です。卒後、勉強の仕方は人それぞれかと思いますが、卒後2年目の自分は学生時代の資料を引っ張り出して勉強をしています。ぜひ大切にしておいてください。

そして、卒業しても決して1人ではありません。歯科医師となると学生時代とは違う壁にまたぶつかることになるかと思いますが、頑張っていれば必ず誰かがそれを見てくれていて、困った時は手を差し伸べてくれます。同じ歯科医師として、共に切磋琢磨しましょう！

先輩から卒業生の 皆さんへ・・・

趙顯哲

124期生・平成31年卒
東京歯科大学卒業後、東京歯科大学
市川総合病院にて研修修了。
現在、早稲田大学大学院法務研究科
に在籍。

Yell
Congratulation on your graduation

Q：今の所属を選んだ理由は？

現在、私は、早稲田大学大学院法務研究科に法学未修者1年として所属しています。法学部卒や元企業法務部所属などの実務経験者と切磋琢磨しながら、法曹資格取得を目指して日々勉学に励んでおります。

もともと、私は、歯医者嫌いであり、時にはレシーナーや笑気ガスを使用してまで治療を受けていました。歯科医学を学んだ立場からすれば、当時の行為は合理的な判断であったということは理解できます。しかし、歯科医師の立場ではない立場からは、その行為はどのように評価されるのかという疑問を抱きました。そのため、医事法という法領域について書籍等を読んでみますと、医学・看護学に比べて、歯科医学について割かれている量は相対的に少なかったのです。それならば、医事法について詳しく考え方を学べる場所に自ら赴こうと考え、医事法の著名な教授が教鞭を執っておられる早稲田大学大学院法務研究科に入学しました。

Q：文系大学院の生活は？

私の所属する早稲田大学法務研究科は、その設置目的を司法試験合格のためとしています。そのため、3年のカリキュラムは基本的に勉強漬けの日々です。その点についていえば、東歯の6年の生活と大きく変わるところはありません。

しかし、東歯とは異なる点もいくつかあります。ここでは、それを紹介していきたいと思えます。

①全日制ではなく、単位制！

ロースクールは単位制です。所定の進級要件を満たせば、特定の科目の成績が一定水準以下であっても、学年を1つ進めた上で、翌年度に再履修することが可能です。

②1日2コマでも多い方、0~1コマ/日なんて日も…

現在、早稲田大学の1コマは90分です。そして、年間取得単位数の上限が規定されていることから、1週間に必修科目だけで10コマ程度です。そのため、

平均すれば1日2コマがせいぜいのところですよ。

③夏休みが長い！2か月！春休みも長い！

夏休みも春休みも長いです。2か月もあります。ですが、翌学期の予習や前学期の復習、司法試験の勉強などやることは山積みです。そして、残念ながら定期試験で不合格となってしまった場合、長期休暇中に再試験が実施されます。

④試験は六法、ボールペン、時計のみ！

試験は司法試験に準じてボールペンによる記述式が主です。分量は、個人差・科目差がありますが、A4サイズが4~6ページくらいです。そのため、試験期間中は湿布が手放せません。

Q：将来の展望は？

未修者として入学したため、本年度は法律基本科目と称される憲法、民法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、会社法を中心として勉強しています。そして、次年度以降には、先に述べたような医事法（刑事・民事）、保険法、社会保障法などの歯科医療に関係する学問の他、環境法、著作権法などの興味のある分野にまで手を伸ばしていきたいと考えております。

歯学部卒の進路は必ずしも歯科医師に限定されません。「歯学部を卒業すれば、将来は歯科医師である」と考え、歯科医師となる将来について思い悩んでいる人は、一度、歯科医師以外の道について調べるといいと思います。研究職や医系技官以外にも、医学部への編入や専門職大学院など、様々な道が開かれています。情報を得ることは自分の選択の幅を広げることです。多くの情報を集め、そのうえで判断した選択の方が悔いは少ないと思います。

ただし、どのような道を選んだとしても、「勉強」は切っても切り離せません。そのため、東京歯科大学在学中に自分に合った勉強方法を身につけておくといいと思います。

卒業する皆さんも、将来の自分のための勉強を頑張っていけるよう応援しています。

同窓会の
本部・支部の活動
クラス会
開催



多くの支部では、学術講演会、保険講習会を開催して、
臨床や経営など様々な情報交換をしたり、会員・家族レクリエーションなどを開催し、会員の親睦を深めています。
また、同窓会では、卒後10年以内で初めてクラス会を開催する学年に支援を行っています。

愛媛県支部からのメッセージ



ご卒業おめでとうございます。これまでに苦楽を共にされてきた同級生の皆さんや、学生生活を支えてこられた保護者の皆さん、教職員の方々と共にこの日が迎えられ、さぞかしお喜びのことと思います。

私たちは大学同窓会の地方支部の一つで、ポンジュースで有名な愛媛県にある東京歯科大学同窓会愛媛県支部です。四国の中の九州寄りの県で、柑橘類のほか今治タオルなどでも有名です。現在 34 才から 89 才まで 54 名が所属していますが、多くの会員は大学卒業後、大学や開業医での研修を経て、出身地に帰郷し診療所を営む開業歯科医です。

皆さんは同窓会というどんなイメージをお持ちでしょうか。学生時代に経験されたと思いますが、東京歯科大学には“みんなで頑張ろう、みんなで高め合っていこう”という空気がありますよね。それは同窓会も同じだと思います。愛媛県支部では、若手の先生に、と言っても 30 代～40 代の先生たちですが、学術講習会、保険の講習会など普段の診療に役に立つ企画をしていただいています。新たに帰郷され、支部に入会された方がいると、若手の先生は歓迎会を開催しています。同級生ではないけれど、同世代の先生同士が懇意にできる良い機会になっています。ここ 2 年ほどはコロナ禍で中止になってしまいましたが、毎年夏には夏のレクリエーションとして、家族ぐるみの食事会なども企画され、家族サービスに一役買っています。

充実した活動を行えているのですが、このような活動を行うには欠かせないものがあります。それは“ひと”です。つまり同窓会会員です。特に若い先生に参加していただくと、同窓会活動がぐんと活気が出てくるのをいつも実感しています。

皆さんはご卒業という大きな節目を迎えられ、今後歯科医師となり、研鑽を積むにつれ沢山の同業の先生と、また社会人として異業種の方々と交流があると思います。どうかその交流に、同窓会というツールも使っていただきたいと思います。そしてより豊かな歯科医師としての人生を送っていただきたい。卒業生の皆様の益々のご活躍を期待しています。

東京歯科大学同窓会愛媛県支部



新年度から、新たに歯科医としての一步を踏み出す先生、研修期間を終了しさらにステップアップを目指す先生、大学院を修了し専門分野で臨床に励む先生、そろそろ開業を考えている先生など、其々の新しい環境でご活躍のことと思います。同窓会本部では、そのような若手の先生方からの相談や質問に対応できるよう、全国の支部、連合会とネットワークをつくりました。「先輩の診療を見学したいけど、どこに行けば良いのかなあ?」「出身地での開業を考えているけど、相談できる先輩がいない・・・」「歯科医師会ってどんな組織なのかな?」「同窓の先生方から直接生の声を聞いて勉強したい」「そろそろ結婚を考えているけど、子育てをしながら歯科医は出来るの?」「クラス会を開催したいけど、どうしたら良いの?」などなど・・・若い先生方の相談や質問の対応をすべく同窓会本部が同窓会員同士の橋渡しをします。昨今のIT社会では、ネットから情報が簡単に検索できるようになりましたが、ネットの情報からだけでは解らないことを、現場の諸先輩と話してみませんか!

ぜひ、同窓会 HP にアクセスのうえ、Mail Box に必要事項を記載して送信してください! お待ちしております。(右図参照)

支援ケース対応例

支援ケース1》》》

[研修医より「来年度以降の就職先を探している」という相談について]
⇒見学先の紹介
今後の進路について、地元、現住所、希望する専門分野(補綴、高齢者歯科など)に応じた診療所の見学を紹介

支援ケース2》》》

[初めてのクラス会開催について]
⇒会則作成、会費支援、連絡先確認、同窓会説明などの支援(卒後5年目、10年目)

支援ケース3》》》

[県人会の開催]
⇒地元の支部と交流をして、研修医が県人会へ参加

「同窓会通信掲示板」を設置いたしました!

同窓会では、会員の皆様とのコミュニケーションを円滑に促進するため「同窓会通信掲示板」を設置いたしました。

同期会開催について、災害被災状況、研修会そして就職情報などなど・・・

会員の皆様から直接情報を発信していただける場所にしたと考えております。

是非、以下へアクセスしていただき、ご利用いただければと思います。

<http://tdc-alumni.jp/bbs/>

*閲覧は会員ページから。
ご投稿には、掲示板専用ユーザー登録をお願いしておりますので、よろしくお願い申し上げます。



各支部 会員ネットワーク担当 若手の会員各支部担当

本部と各支部が連携をとって対応します。

鳥取 岡山

島根 広島

山口

大分 福岡

佐賀 長崎

熊本 宮崎

鹿児島 沖縄

香川 徳島

愛媛 高知

同窓会本部

相談・質問内容を確認し、適切な関係部署において対応しま



若手同窓会員

質問例

- ★関連病院・診療所見学について
- ★開業について
- ★歯科医師会入会について
- ★各支部・各地域の事業について

まず、同窓会 HP にアクセスします。

東京歯科大学同窓会 HP
<http://www.tdc-alumni.jp>
「MAIL BOX」をクリック!



QRコードから
アクセス!!



トップページの「MAIL BOX ご意見・ご質問」をクリックし、「若手ネットワーク MailBox」へ入ります。

若手ネットワーク MailBox

[若手ネットワークシステムについてはこちら>>](#)
[若手ネットワーク担当名簿はこちら>>](#)

※必須項目は入力欄に*を付します。

※ 氏名:

※ 卒業年・在籍年: 平成 年 月 日 または 第 学年

※ 所属支部: 支部 (未所属の場合は、入会予定の支部を記入)

※ 理由・質問したい内容について、チェックして下さい。

1 関連病院・診療所見学について
 2 開業支援またはこれから開業する方からの相談について
 3 歯科医師会入会について
 4 各支部への入会について
 7 1 月の会報
 8 各地域理事(支部長・幹事会・幹事会・年次総会等)への参加について
 9 その他(卒業生・大会の参加等)について

※ 必ず QRコードの読み取りをお願いします。

〒

※ メールアドレス:

性別: 男性 女性

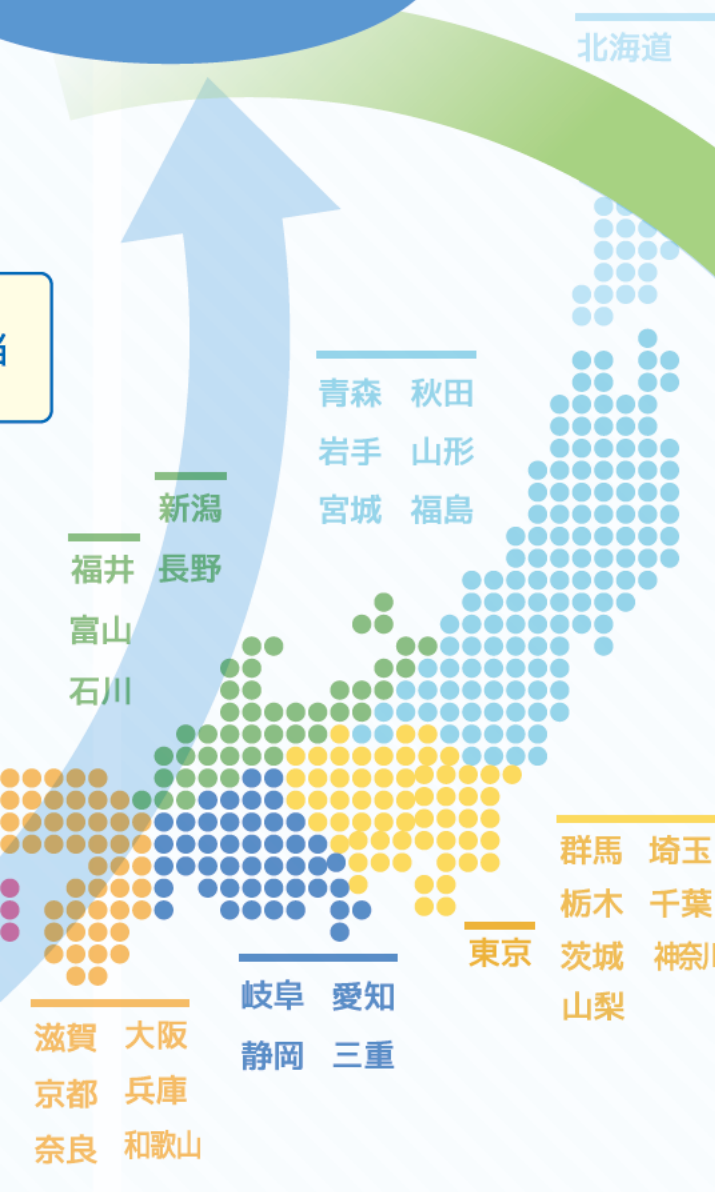
年齢: 歳

電話番号:

送信する

- ★氏名
- ★卒業年・在籍学年
- ★連絡先・方法
- ★質問・相談内容

若手ネットワーク MailBox の
 フォームに必要な事項を
 記入して送信してください。



先輩から卒業生の 皆さんへ・・・

岡野文佳



124期生・平成31年卒
東京歯科大学卒業後、東京歯科大学市川総合病院にて研修修了
現在、東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座在籍。

Q：今の職場を選んだ理由

現在、私は母校のクラウンブリッジ補綴学講座に入局して2年目になります。卒後3年目ではありますが、まだまだ診療に余裕はなく奮闘する毎日を送っています。

私が当講座に入局を決めたのは研修医生活も終盤にさしかかった2月でした。今後の自分の歯科医師としてのビジョンが定まらぬまま月日がながれていく中で、進路を決めるきっかけとなったのは、患者との医療面接でした。その中で抜歯後の欠損部の補綴方法について質問があり、患者の疑問を解決できる説明はできました。しかしながらいざ自分が補綴治療を行うと想定した場合、選択基準が分からず、歯科医師としてこれでいいのかという焦りが生じました。このような経験もあり、大学の講座に入局することを決め、とりわけ補綴の中でも年齢層の幅が広い治療であるクラウンブリッジを学びたいと思い当講座を選択しました。

Q：研修後の進路選択について

研修医の1年間は母校の市川総合病院で研修を行いました。主に口腔外科や有病者歯科の分野からその後、補綴という全く違う分野に進んだため、自分の選択が正しかったのかと考えることもありましたが、現在は自分の選択に自信を持っています。理由としては、私が診療を行っている補綴科は既往歴を持つ患者が比較的多いです。そのような患者の治療を進める際に、他に患

者に聴取すべきことはないか、医科に対診すべきかどうかなど、全身状態についての視点を持てるようになったことが現在に繋がっていると思っているからです。

Q：将来の展望

当講座では、新人1年目には指導医がつき、指導医の診療の見学介助を行い、研鑽を積みます。

2年目で自分自身が診療を行い、様々な症例を経験していく中で、指導医の診療姿勢は目指すべき姿であると改めて感じています。指導医のような患者対応、丁寧な診療を身につけ、症例について助言を受けるだけでなく、議論できるようになることが現在の目標です。

今後も努力を怠ることなく、歯科医師として成長できるよう精進を続けていきたいと思います。

卒業後はこれまでの大学生活よりも視野が広がり様々な場面で選択する機会が増えます。

特に、研修医修了後の進路については十分に悩み抜いて、自分の責任で最終決定することが大事だと思います。私自身も様々な人に相談しましたが、最終的には自分で決定しました。どんな道に進んでも、苦しくなる時があってこの選択で正しかったのかと思う時が来ます。そんな時、自分で選んだ道であれば諦めずに踏ん張ることが出来ます。

卒業する後輩の皆さんがそれぞれの選んだ道で活躍されるのを応援しています。

Yell
Congratulation on your graduation

先輩から卒業生の 皆さんへ・・・

松井香奈



125期生・令和2年卒
東京歯科大学卒業後、東京都立多摩
総合医療センター歯科口腔外科にて
研修中。

Q：職場紹介（医局・診療所等）

私は東京都立多摩総合医療センターの歯科口腔外科で働いています。

都立病院は2年間の研修のため研修医2年目として日々研修に励んでいます。

この病院は多摩地区における中核的病院であり、日々多くの患者さんが来院される総合病院です。歯科口腔外科では、智歯抜歯をはじめとした外来処置に加え顎顔面外傷などの救急疾患や口腔がんの治療など数多くの治療を行っています。先生方の優しく丁寧な指導のもと日々研修をさせていただいています。学生の頃は紙面上でしか見たことがない疾患を実際の臨床で経験したり、指導医の先生のもと一緒に治療方針を考えたり直接処置に加わることができるので、忙しくも充実した毎日を送っています。

Q：今の職場を選んだ理由

もともと口腔外科に興味があったので口腔外科の研修ができる研修先を希望していました。多摩を選んだ理由としては病院見学に行った際に先生方や研修医の先輩方の雰囲気非常に良く、実践を通して研修ができることに加え、医科的な知識を学ぶ機会が充実しているという点でこの病院を希望しました。

Q：歯科医となった生活はどうですか？

研修がはじまって最初の頃は何もかもが新しく日々をこなすのに精いっぱいでした。学生の頃とは違って自分で自由に使える時間もほとんどないなか勉強しないとい

けないことも沢山あったので体力的にも精神的にも疲労していたと思います。ですが日々自分のできることが増えていくという実感があったのでやる気は継続して持っていたと思います。

Q：歯科医師となって楽しさや困難は？

まだまだ半人前で知識も臨床経験も浅いですが、少しずつ自分でできることや知識が増えているなど実感できることが歯科医師となって感じている楽しさです。研修医2年目になって仕事になれてきた部分もありますが、後輩への指導に苦労したり、できることが増えた分自分の不足しているところに気が付くので日々勉強が必要なことをひしひしと感じています。また仕事で頑張った分、休めるときはしっかり休むことが大事です。自由時間が限られているからこそ休みの時間はしっかり休むとともに充実した時間を過ごすようになりました。

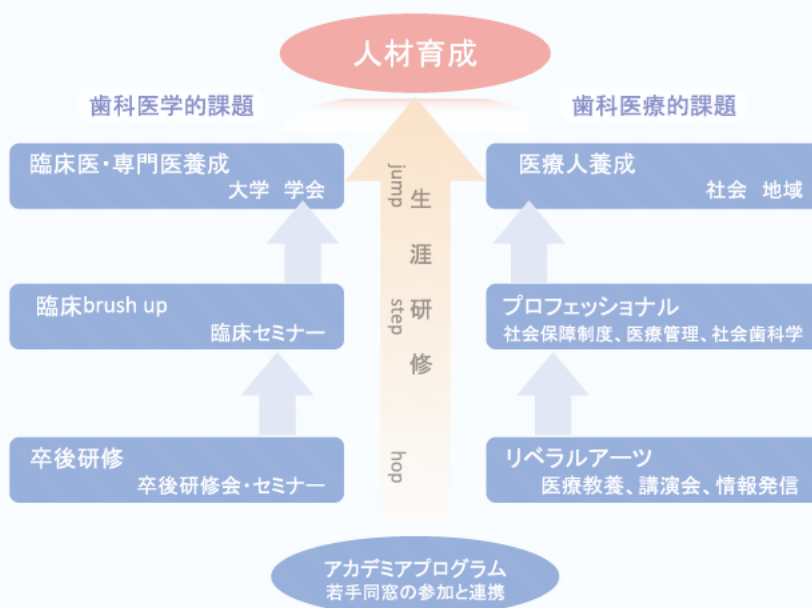
研修医になると学生の頃とは全く違った生活が始まります。この2年間で私が感じたことは、辛い場面や不安があったとしても、とにかく向き合い続ければ必ず成長しているということです。自分自身ではなかなか成長に気が付きにくいですが周囲で見守ってくれている人が必ずいますのでどんな環境でも頑張りを続けてもらいたいと思います。

私も研修医で学んだこの経験を胸に今後も努力を忘れずに精進していきます！

“TDC Academia”

アカデミアの理念

『歯科医師たる前に人間たれ』の建学の精神を基本に、人間味豊かで、社会性のある人材育成をめざす総合的な生涯研修の場“アカデミア”をつくり、臨床から地域保健、医事に通じた国手となるための一貫した理念に基づいた事業展開をめざすものです。全国の同窓が次代を担う後輩たちへの支援や連携の輪となることを期待しています。



同窓会創立120周年を機に新たな同窓会の一つの役割としてアカデミア構想をスタートさせました。これは同窓の生涯研修のために集える場であり、そこには研修事業もあり、歯科医師像の議論もあり、学術や医療制度情報の交換・提供もあり、先輩後輩の交流もあり、全国離れた地でもいろいろ新しい形に発展していくことを願った構想で、究極するところ120年の歴史で培われた社会性をもった歯科医の育成そして歯科界の発展を目指したものです。

- 東京歯科大学同窓会は、会員相互の親睦並びに福祉の増進を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的としています。そのために、同窓会員に対する学術的支援、困ったときの支援、各種情報の提供、さらに大学への協力などを行っております。
 - 本学の学生も「**準会員**」となり(会費等はなし)、また卒業5年目までは「**新進会員**」として、さらに卒業10年目までは会費等も軽減されます。
- 最近は特に卒業直後の若手会員の支援に力を入れております。

世代・地域を超えた同窓の交流

ネットワークやいろいろな企画を通して先輩後輩の交流をひろげます

(総務・厚生部、広報部)

情報の共有化

全国どこでも、だれでもが同じ恩恵を受けられるような情報化を目指します

(総務・厚生部、広報部)

学術事業

歯科医学的課題
医学の知識や技術など純粋な学問としての研修

歯科医療的課題
社会を意識した歯科医療人を目指した研修
(事業推進部)

制度のプロフェッショナルづくり

大きな視点で考える人材、動かしていける人材を育てます
(渉外部)



卒後研修

臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。



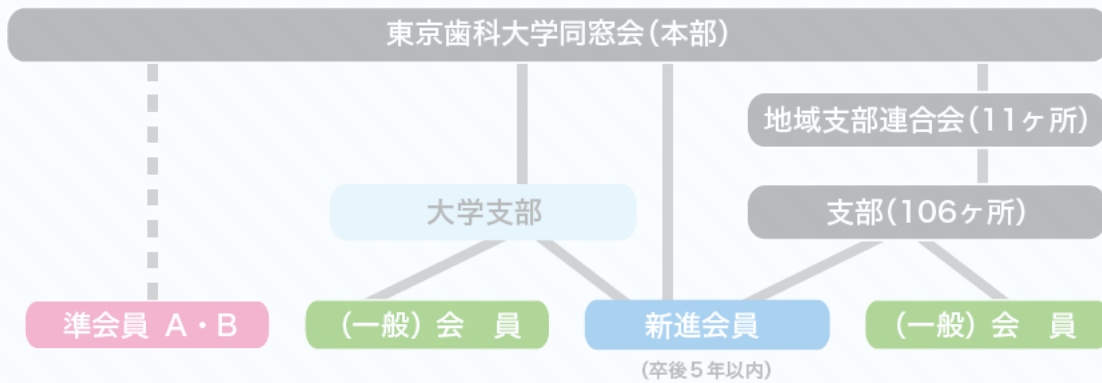
臨床セミナー

すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。



医療教養

若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。



同窓会には、9,000人以上の会員がいて、全国各地および大学に合計107支部がおかれ、同窓会員は原則いずれかの支部に所属することになります。

新進会員については、所属する支部が決まるまでの期間は本部直属扱いとなります。

また、全国11の地域別に地域支部連合会がおかれ、地域内の支部の連携を密にして、同窓会の発展に関する協力機関となっています。さらに、同窓会本部には、会長、副会長、専務理事、理事、監事が置かれ会務を執行しています。このように、支部、地域支部連合会、同窓会本部と3層でそれぞれ活動しながらも、常に連携のとれた同窓会活動を行っています。

◆ 同窓会本部 役員構成

会 長
副 会 長 (5名)
専務理事
常任理事 (10名)
理 事 (11名・地域選出)
監 事 (3名・うち常任監事1名)

◆ 同窓会本部 委員会構成 ①常置委員会

【総務・厚生部】 総務厚生委員会
ゴルフ大会委員会
新進会員のつどい実行委員会
会員活動推進委員会

【渉外部】 渉外委員会
東歯同窓国会議員を支える会

【広報部】 広報委員会 (会報・HP・ネットワーク)

【事業推進部】 学術委員会 (卒後研修)
(臨床セミナー)
(医療教養)

②特別委員会 ③地域支部連合会

【選挙管理委員会】

北海道地域支部連合会 【10支部】
東北地域支部連合会 【6支部】
関東地域支部連合会 【16支部】
東京地域支部連合会 【39支部】
信越地域支部連合会 【5支部】
東海地域支部連合会 【4支部】
北陸地域支部連合会 【3支部】
近畿地域支部連合会 【6支部】
中国地域支部連合会 【5支部】
四国地域支部連合会 【4支部】
九州地域支部連合会 【8支部】

大学
大学支部

*各支部への連絡先は同窓会本部
(TEL 03-6261-6631) にお尋ねください。

- ◎ 東京歯科大学同窓会主催の各種セミナー、講演会等は、無料もしくは割引料金で受講できます。
- ◎ 新進会員のつどいは無料で参加できます。
(他大学同窓会主催のセミナー等にも無料で受講できるものがあります。)
- ◎ 支部、地域支部で開催される学術講演会、保険講習会に参加できます。
- ◎ 皆さんの生の声を支部長を通して本部に伝えることができます。
- ◎ 80歳、100歳を迎えられるとお祝い金が贈呈されます。また、死亡時には弔慰金が支払われます。(会費未納者には支払われません)
- ◎ 年4回発行の会報で、同窓会、クラス会、大学の情報がわかります。
- ◎ 同窓会ホームページのメールBOXから質問、相談ができます。

【同窓会員のルール】

- ◎ 支部に所属します。
- ◎ 年度会費は、期日までに支払います。
- ◎ 住所、勤務地の変更等は、必ず届出ます。

【同窓会事務局からのお願い】

- ◎ 事務局は毎週土曜・日曜はお休みをいただいております。なお、電話での対応は平日9:30～17:30とさせていただきます。御協力お願いいたします。
- ◎ 事務局では、御質問に対して正確を期すため、すぐに御返事ができない場合もあります。御了承ください。

【会費】

- ◎ 同窓会費 年額 20,000円
(卒後10年目までは年額 10,000円)
- ◎ 同窓会費は各支部にお支払いください。
銀行口座からの自動引き落としも可能です。
- ◎ 「新進会員」は本部に直接お支払いください。
- ◎ 東京歯科大学の勤務・大学院生は、大学支部を通じてお支払いください。
- ◎ なお、支部、地域支部連合会によっては、別途、支部会費、地域支部連合会費が必要な場合があります。
詳しくは、各支部にお尋ねください。

【入会後の諸手続についてよくあるご質問】

- Q1) 新進会員です。近く転居します。手続きは必要ですか。
住所、氏名等登録事項変更届を同窓会事務局に提出してください。
- Q2) 現在勤務医です。支部に所属していないので、支部に所属したいと思います。手続き方法を教えてください。
勤務地または居住地の支部に所属することになります。
支部長に連絡をしてください。
支部への連絡先が不明の場合、同窓会事務局にお問い合わせください。
- Q3) 勤務医です。新進会員の5年間が終わります。何か手続きは必要ですか。
支部加入手続きが必要となります。Q.2を参照してください。
(新進会員期間終了後は必ずいずれかの支部に所属します)
- Q4) 勤務医です。勤務する地域の支部に所属しています。今度、開業することになりました。支部移動の手続き方法を教えてください。
新しく開業する地域(または住居地)の支部長に連絡してください。
支部への連絡先が不明の場合、同窓会事務局にお問い合わせください。
- Q5) 現在、歯科の仕事から離れています。支部に所属が必要ですか。
離職等により、勤務地がなくなった場合でも、住居地の支部に所属します。
住居地の支部長に連絡してください。
支部への連絡先が不明の場合、同窓会事務局にお問い合わせください。



東京歯科大学同窓会
東京歯科大学同窓会事務局

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-9-18

〔水道橋校舎 南棟 6階〕

TEL:03-6261-6631
(9:30-17:30 土日祝休み)

FAX:03-3264-4859

<http://www.tdc-alumni.jp>

